

平成 29 年度定時社員総会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

- I. 日 時 平成 29 年 6 月 10 日（土曜日）午後 1 時～午後 4 時
- II. 場 所 アットビジネスセンター東京駅 3 階 302 号会議室
〒140-0031 東京都中央区京橋 1-11-2 八重洲 MID ビル
- III. 国体開催自治体挨拶
第 72 回国民体育大会ホッケー競技開催地の愛媛県伊予市と松前町が登壇、代表して伊予市長武智邦典様からご挨拶いただきました。
- IV. 男子日本代表 HC シギ・アイクマン氏と女子日本代表 HC アンソニー・フアリー氏が就任挨拶を兼ねて方針説明した。
- V. 総会開会
出席理事：横田 努、内藤貴詞、喜久生明男、寺本祐治、
山口修一郎、安西浩哉、中村康夫、中村真理、古賀久義、
宮野正喜、瀧上正志、高井通昌、濱田清二、千野雅人、
今庄充世、穴田直樹、林 勇次、馬場治男、山野秀一、
野崎博典、長田和雄、中村哲也
出席理事候補：中曾根弘文、遠藤博行、真喜代司、吉光幸夫
出席監事候補：唐澤 新
1. 定足数の発表と開会宣言
13 時 36 分、中村事務局長が総会開会を宣言した。
正会員（社員）数 106 名、本日出席数 101 名
本人出席 62 名、委任状 23 名、議決権行使書 16 名
欠席 5 名
正会員の過半数の出席を得て定款第 17 条に基づき会は成立したと説明があった。
2. 議長選出
徳島県の八張慎正会員から山梨県の寺本祐治正会員の推薦があり、

他の候補の推薦もなく満場一致で山梨県の寺本祐治正会員が選出された。

3. 議事録作成人と議事録署名人の指名

議長は議事録作成人に織井隆司 J H A 事務局職員を、議事録署名人に徳島県の八張慎正会員と富山県の新井健史正会員を指名した。

4. 審議事項

審議に先立ち、事務局より事業報告資料は修正があったので、すでに郵送してあるものと差し替えて、本日配布した資料を見ていただきたいと説明があった。

(1) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告の件

議長は事務局に説明を求めた。

中村事務局長が配布されている資料に基づき説明を行なった。

議長は質疑を呼びかけた。

①坂本（埼玉）：リオ五輪で女子代表はメダル獲得を目標にしたが

結果は 10 位だった。メダルを目指した根拠は何か？

喜久生強化副本部長：大会直前の国際大会で好成績だったのでメダルを目指した。

山口常務理事、前強化本部長：大会直前の国際大会で好成績だったこと。川淵さんから「オリンピックはメダルを狙いに行くところ」と強い要請があり目標とした。

坂本：チームの方針を聞きたい。また日本人特有のホッケーとは何か？

中村真理強化副本部長：リオ五輪の結果に対してはお詫び申し上げる。

『走るホッケー』を目指した。リオ五輪では走力は他国に引けを取らなかったがゴール前のスキルの低さが敗因だった。

坂本：科学的根拠に基づいて全国の指導者に日本特有のホッケーを伝えて欲しい。各年代の指導者に集まってもらい議論して結論を出すのもひとつの方法として要望する。

坂本：リオ五輪前に海外遠征を 4 回もやっておきながら適切な事前対策を立てられなかったのか。

中村真理強化副本部長：海外遠征ではリオと同じピッチで出来なかった。立命館大学茨木グラウンドがリオと近いピッチだったので合宿とカナダ招聘試合を行なった。五輪出場 12 カ国の平均キャップ数で日本は最下位だった。

坂本：選手のみならず審判、指導者も総合的に成長しなければならな

い。全国のホッケー関係者が一致団結して協力できる体制を作ってもらいたい。

- ②大久保（福井）：役員もしっかり教育する必要がある。JHAのホームページのアクセス数も増えたとし、理事会議事録もHPに載るようになったのはいいこと。昨年都道府県協会にアンケート取ったがそれを基に議論をしたのか？中身を見ているとごたごたしている印象がある。アンケートの結果はどうだったのか、理事会としてどう考えたのか聞きたい。

議長：改革委員会を立ち上げて答申出した。事務局から説明ください。

中村事務局長：リオ五輪終了後改革委員会を設置①委員会からアンケートを出した。27都道府県+3団体から回答あり、リオの評価は不満と大いに不満を足すとほぼ70%になった。②リオ五輪目標達成度はマスコミに対してはメダル獲得を掲げ、(内部では)最高6位以内、最低8位以内を目指したが未達に終わった。③東京2020オリンピックへ向けての人事提案がされ、2017年6月まで役付き理事留任、内藤新副会長選任を決めた。以上が答申であった。

議長：その答申は理事会で否決された。

中村事務局長：11月の理事会で選挙を行い強化本部長は私中村が、また寺本専務理事が選任された。中村は5日後に辞任した。

- ③田中（奈良）：どうも納得できない。他のスポーツなら監督が責任とって辞めるがホッケーは違うのか？強化について現場ではない人が説明するか？選手選考委員会は不要ではないか。外国人ヘッドコーチを招聘したら強化本部は何をするのか？

強化本部長の選挙のことは聞いている。中村さんは仕事を途中で投げ出すような人ではない。それがたった数日で辞任したのは納得できない。実際に何があったのか。強化のあり方に違和感を感じる。永井監督は自分の責任で選手を選んだのか？それなら選手選考委員会は不要、選手選考委員会が選んだのなら委員会の責任ではないかと言いたい。

議長：当時の強化本部長の山口さんから答えてください。

山口：選手選考ガイドラインがあり、それはJHAホームページに載っている。ヘッドコーチとアシスタントコーチが選手を選び、その案を選手選考委員会(日本代表承認委員会)が承認する。監督のセレクションでチームは編成するがフェアにやらなければならないし、コンプライアンスの問題もある。選手選考委員会が承認した内容を理事会が承認する。色々な意見が出てくるのでヘッドコーチの案を

そのままというわけには行かない。

田中：それならば監督だけの責任ではない。強化本部が失敗したということではないか。

喜久生強化担当副会長：そういう言い方をすればそうになってしまう。監督の意見だけではダメ。選手選考委員会だけでもダメ。理事会の承認が必要。責任の持ち方をそのように言われても答えようがない。

田中：全国アンケートで70%が不満を持っていた。現在強化本部長が空席になっているので責任をとっていることになるのだろう。しかし、今の説明では責任の所在がどこにもないという回答。あやふやなまま選挙になり、中村さんが受かったが5日で辞めてしまった。皆さん黙っているが一連の動きは皆知っている。オリンピックに向けていい方向を向いて欲しいと思ってシベアに見ているが考えられない動きがあつて結果として中村さんが辞めたのではないか。

議長：質問は手短に。辞意を表明された理由を中村事務局長から回答してください。

中村事務局長：自分が事務局長をしながら強化本部長を務めるのは不可能だと思い辞めた。選挙前には思いが至らなかった。

田中：理事会で決定したのに理事会の承認を得ずに辞めたのは理解できない。各都道府県に正式な形で報告なかった。内閣府を巻き込んだ動きもあつたと聞いている。

議長：山口さん回答してください。

山口：中村さんが選挙で強化本部長に選ばれて5日後に辞任された。強化本部役員・委員からは山口再任の推薦があつたが、リオ五輪の責任を外形的に取る必要を考えて自分は要請を固辞した。喜久生副会長が強化担当を務めていただいているのが現状。

議長：内閣府に関しても答えてください。

山口：どういう質問か？

田中：強化本部長人事のことを訴えたと言っている、文科省・JOCにも話しが伝わっているということらしいが分からないから聞いている。

山口：内閣府に理事会の議事の進め方や理事としての責任の範疇をたずねた。それを参考に理事会の進め方を指導していただいた。

議長：具体的に説明してください。

喜久生：自分が言い出した。核になる人が強化本部長になるべきと理事会で2回提案したが話が進まなかつたので内閣府に問い合わせてもらった。

田中：内閣府はどうされたのか？

中村事務局長：内閣府から文科省へ、そしてトップリーグ連携機構へと話が伝わった。川淵さんから、ホッケー協会のガバナンスやコンプライアンスはどうなっているのか、協会としての動きではなく個人の単独行動ではないか、と言われた。

議長：その後内藤副会長も内閣府へ行ったので説明してください。

内藤：山口常務理事から『内閣府へ行ったので、今後内閣府からご指導があるだろう』という連絡が日本ホッケー協会の業務執行理事に届いたので、会長、事務局長に尋ねたがどちらも何のことか分からなかった。そこで内閣府に日本ホッケー協会として聞きに行った。結果内閣府から『現状ではホッケー協会に対して何ら申し上げることはない』という見解をもらい、内閣府からはその後何の連絡もない。

- ④大久保（福井）：改革委員会答申が理事会で却下されたというのは理解できない。都道府県の意見が生かされずに理事の方々が勝手にやっているという認識で良いのか。却下した根拠を聞きたい。

議長：中村事務局長、回答してください。

中村事務局長：総会までは現状維持とする、その後立て直しを図る、というのが改革委員会答申、それでは駄目だというのが理事会の結論、全国から来たアンケートの答えの70%がから不満をもらっているのに現状のままで良いのかというのが理事会の意見だった。

議長：質問も出尽くしたので決を取ります、承認いただける方はご起立ください。過半数を超えているので承認されました。

(2) 第2号議案 平成28年度決算報告の件

議長が瀧上総務委員長に説明を求めた。

瀧上総務委員長が配布されている資料に基づき説明を行なった。

議長：男子ユースが遠征を中止した理由を説明してください。

穴田：テロの為日本人が亡くなった事件があったため派遣を見送った。代わりにニュージーランド遠征を実施した。

議長：質問ある方はいますか？無いようなので決を取ります。賛成の方はご起立願います。過半数を満たしているので承認されました。

(3) 第3号議案 定款等改正の件

議長が事務局に説明を求めた。

中村事務局長：正会員に日本ホッケー協会マスターズ部会を加えること

を提案する。

議長：質問ある方はいますか？無いようなので決を取ります。定款改正は正会員の3分の2以上の賛成が必要なので71名以上の賛成が必要です。賛成の方はご起立ください。73名まで数えましたので承認されました。

(4) 第4号議案 理事・監事選任の件

議長：第4号議案理事・監事選任の件を審議します。

杉原（島根）：修正動議を提出します。

議長：修正動議が提出されました。総会規定第14条により修正動議は提出できます。修正動議の内容を説明してください

杉原：理事候補28名が推薦されているが定款では30名以内の理事を選出できる。平尾豊さんと安枝和子さんの2名を候補として推薦したい。（杉原正会員が用意した平尾豊候補と安枝和子候補の履歴書を事務局が配布）

田村（岩手）：理事定数は30名以内となっているが任期が2期に分かれている。1期分だけ改選するのではなく全員辞任してやる形にしないとおかしいのではないか。

中村事務局長：任期は2年なので来年揃えようと考えて進めている。

大久保（福井）：昨年の総会でそろえるという話になったのにもう一年延びた理由が分からない。東京2020オリンピックまで残り少なくなっているのに心機一転でやるつもりはないのか。

中村事務局長：今年でそろえると今年で辞めなければならない理事も出てくるので来年そろえることにした。

議長：補足する。理事会で検討したが辞任は強要できないというのが監事と法制顧問の意見。辞任以外は解任になる。辞任に否定的な意見の理事もいたので、今回選任される理事を任期1年として総会で承認を得たいと考えている。

大久保：数字は分かる、任期のことも分かる、しかしそれでは理事会というのは何をするところか。こんなにもめているのはホッケーだけ、それをそのままホームページにアップするのもどうかと思う。個人の意見でどうなるか分からないという含みのある話しをされても理解できません。

中村事務局長：来年定款変更も含めて任期を揃えるよう進めたい。

瀧上：今の定款でも運用で任期を揃えられる、やり方は検討させてもらいたい。

議長：新任理事の任期を来年度の定時総会までにする件の承認を得たい。

議長：今回選出される理事の任期は来年度の定時総会で終り。それによって来年は理事の任期がそろろう。

田中（奈良）：昨年の総会でその提案が出て通ったので今年そうすると思っていたが・・・。

議長：通っていない、検討するということだった。

田中：ほとんどの理事は辞任するつもりだった。何名かが断ったからこうなった。それなら総会は何なのかと不信感を抱く。

議長：個人の権利なので覆すことは出来ない。今回の選出の理事の任期を来年度の定時総会までとする件、決を取ります。賛成の方はご起立ください。過半数を満たしているので承認されました。

議長：先ず原案を事務局から説明してください。

中村事務局長：配布されている資料どおり再任理事候補7名、新任理事候補8名、新任監事候補1名です。

議長：定款施行細則第4条により役員候補選考委員会を設けて選考した委員会案が理事会へ提案されました。理事会で委員会案が否決されたのでその場で投票による再選考が行なわれ、過半数を得た人を理事会推薦候補としました。

杉原さん修正動議の説明はありますか。

杉原：資料の21番から24番の候補者がホッケー以外から選出された理由を聞きたい。

議長：修正動議に関して話してもらいたい。

杉原：平尾さん、安枝さんは技術委員会で満場一致で推薦された。東京2020オリンピックに向けて重要な人材なので理事候補に加えてもらいたい。

議長：役員候補選考委員会で否決された。理事会で再度提案され、また否決された。それでも総会で提案したいということでよいか。

修正動議に賛成の方起立してください。

賛成32名で否決されました。

続いて第4号議案の決を取ります。出席者の過半数51名の賛成を得れば承認されます。

議長は配布されている資料の順に再任理事候補7名、新任理事候補8名、新任監事候補1名の決を1人ずつ取り、全員がそれぞれ過半数を得て次の通り可決確定した。

理事	氏名	寺本	祐治
同	氏名	中村	康夫
同	氏名	瀧上	正志
同	氏名	濱田	清二
同	氏名	千野	雅人
同	氏名	今庄	充世
同	氏名	近藤	聡史
同	氏名	中曾根	弘文
同	氏名	橋本	聖子
同	氏名	間野	義之
同	氏名	伊吹	洋二
同	氏名	遠藤	博行
同	氏名	真	喜代司
同	氏名	吉光	幸夫
同	氏名	鈴木	清廣
監事	氏名	唐澤	新

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

議長：他競技と比べて理事の数も多いし、正会員の数も多いと内閣府からも指摘されている。今年度中に定款改正を理事会で検討します。

5. 報告事項

(1) 平成29年度予算～瀧上総務委員長が報告。

(2) 東京2020オリンピック・ホッケー競技実施へ向けた取り組みの現状～安西東京2020オリンピックホッケー競技実行委員長が報告。

東京ホッケー協会一川副会長から東京駒沢球技場の利用者数確保について協力要請がされた。

(3) 東京2020オリンピック強化に向けて（さくらジャパン・サムライジャパン）～中村真理強化副本部長が報告
新たに外国人ヘッドコーチが着任したのでその方針に沿って進める、アンソニー・ファリー女子ヘッドコーチは金メダルを目指すと言っている、と説明があった。

(4) 外国人HC選考経緯と略歴～会の冒頭行なったのでここでは割愛。

(5) その他

①飛田（富山）：岐阜グリーンスタジアムの人工芝は何を敷く予定か？

回答 喜久生副会長：近々張り替える予定があり東京 2020 オリンピックと同じものを要望している。

② 同：男女とも外国人ヘッドコーチになった。ホッケーに堪能な通訳が男女2名ずつくらい必要ではないか。力を合わせて東京 2020 オリンピックに向けて頑張ってもらいたい。強化本部の方、もっと細かい計画を立てて強化に当たってほしい。

③大久保（福井）：国体の仕事をしている。日体協で実施競技の見直しがあった。佐賀国体からボクシングはオリンピック種目でメダル獲得競技なのに外される。協会のコンプライアンスの問題が原因。理事の方はそういう責任を自覚して取り組んでもらいたい。

④田中（奈良）：ナショナルチームスタッフから日本リーグのチームのスタッフを外すと聞いた。ヘッドコーチの希望を優先して選手やスタッフを選び、オリンピックでメダルが取れるようお願いしたい。

回答 寺本専務理事：本件は自分がまとめて調査するよう JHA 理事会並びにホッケー日本リーグ機構理事会から依頼を受けている、必要であれば報告書をオープンにする。

6. 最後に

議長：横田会長が本総会を最後に退任されるので一言ご挨拶いただきます。

横田会長：皆さんの協力で今日まで務めてこられたことを感謝します。

議長：新たに選任された中曽根理事から一言ご挨拶いただきます。

中曽根理事：本日理事に選任されたことを感謝します。高校・大学とホッケーをやってきたが今後は理事の一人として微力を尽くします、よろしく願いいたします。

議長は以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後4時に閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が署名捺印する。

平成 29 年 6 月 10 日